

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会
- 3面 読者のページ/パズル/まんが
- 4・5面 政界の統一協会汚染度/女性&メディア/ホットライン
- 6面 乾燥肌を予防/母の歴史/文化情報
- 7面 新婦人のページ/主張/自然とあそぼう!



大阪・箕面市 山本美保子

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

政治は生活、生活は政治 地域から変える



東京・杉並区長 岸本聡子さん

今夏、東京・杉並区長に就任した岸本聡子さん。欧州で長年にわたり環境NGOの研究員をつとめ、福祉や公共サービスを削ってきた新自由主義の問題点を指摘しながら、公共をとりもどそうと活動してきました。そんな異色の経歴を持つ女性区長が、全国から注目されています。新婦人東京都本部の創立60年記念のつどい(11月5日)での講演の一部を紹介しします。

あきらめない 女性たちの運動の上に

新婦人創立60周年、おめでとうございます。私自身も、学生時代から今に至るまで、日本にいなかった時期も含めて、常に運動家、フェミニスト、そして研究者として歩んできて、7月11日には杉並区長に就任しました。

選挙の際は、新婦人の方々、たくさんの方々の声、たくさんの杉並区民、そして全国から応援をいただきました。

新婦人の活動のスライドショーを拝見して、みなさまのたゆみない平和やジェンダー平等への思い、努力や活動が心にしみる思いです。みなさまをはじめ多くの女性たちのあきらめない運動、努力の先に、私たちの今日があるということを改めてかみしめています。



7月11日、初登庁で市民の声援にこたえる岸本さん (写真は2枚とも「住民思いの杉並区長をつくる会」提供)

パートナースhip条例を 一歩すすめて

私がまず取り組みたいことは、パートナースhip条例をつくることです。性的マイノリティーカップルの関係を公的に認める、東京都のパートナースhip条例が11月1日から施行となり、全国では人口の60%以上をカバーする約240の自治体が、このような条例・制度をもったことになりました。

区長「ハラスメントゼロ宣言」

先行自治体から学び、区民や専門家、当事者の声を聞きながら、よりよいものをつくっていききたいと思っています。

杉並区では、同性のみならず、異性間の結婚の形をとらない事実婚カップルを対象に含めたいと思っています。さらに、同性カップルの場合もパートナーとなる2人のみ

条例は、つくるだけでなく活用し、認識を深めていくことが大切です。職員や子どもたちからお年寄りまでみなさんで理解を深めていけるよう、ワークショップといった取り組みを継続的に実施したいと思っています。

非常勤職員、合わせて約6000人です。全職員にアンケート調査を実施したところ約2700人から回答があり、過去3年間に「ハラスメントを受けた」「目撃した」と答えた職員は、いずれも15%を超えました。「パワーハラスメント」、管理職からのハラスメントが多かったのが特徴です。どんな組織でも、ハラスメントをゼロにするのは難しいことですが、ハラスメントが起きたときの対応、救済、制裁も含めて考え、ゼロにするという強い気持ちで臨みたいと思います。(2面へ)

もう一つは、区役所においてあらゆるハラスメントをなくす「ハラスメントゼロ宣言」です(11月9日記者会見で発表)。選挙の時から、女性やマイノリティーが働きやすい職場は、誰にとっても働きやすい職場であることを訴えてきました。その一歩として、まずは私が「ハラスメン

トはしません」「許しません」と宣言し、杉並区の中でしっかり打ち立てることが喫緊の課題です。

杉並区(人口57万人)の職員は、35000人の常勤職員と25000人の

【年末年始の発行について】年内の最終号は12月17日号です。12月24日号は休刊となり、1月1日新年号は12頁建て(12月31日号と1月7日号の合併)です。1月の通常号は14日号からです。編集部

新婦人創立60年 #新婦人に入ろう

